

7月24日(火)～7月27(金) 4校(神戸・御影・東灘・葺合)合同東北ボランティア

今年も本校と御影高校、東灘高校、葺合高校の4校が合同で東北ボランティアを実施しました。本校からは男子5名、女子4名(1年6名、2年3名)の計9名、引率として中村教頭先生、石井先生が参加しました。

4校全体では、生徒48名、教員10名、計58名の団となりました。

◇ 事前研修

7月23日(月)午後 御影高校で4校合同の事前研修会を実施しました。



・今回のボランティアには、神戸マラソンの「フレンドシップバンク」からも支援をいただきました。そのため、神戸マラソン事務局からもお越し頂き、お話しをいただきました。

※神戸マラソンでは、阪神・淡路大震災の経験と教訓から、人的・物的・財的の3つの支援を柱に、国内外の被災地等を支援する「フレンドシップバンク」を設立しています。財的支援では、自然災害による被災地ならびに防災・減災活動に取り組む団体を支援しています。

◇ 東北ボランティア

7月24日(火) 出発



東灘高校での出発式

- ・7:00、神戸高校と葺合高校は、王子公園に集合
- ・東灘高校に4校が集合し出発式
- ・東灘高校の生徒たちが企業を回って集めてくれた支援物資をバスに搬入
- ・7:45頃、出発
- ・21:25頃、宿舎の「宮城県総合運動公園(グラデイ21)」に到着

7月25日(水)

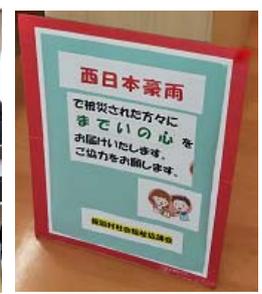
<午前> 福島県飯館村訪問(飯館クリニック内の交流場)



除染の土などを覆ったもので、あちこちで見られます



東灘高校生が集めてくれた支援物資をお渡ししました



- ・グループに分かれて交流しました。お話を聞いたり、折り紙などもして交流しました。
- ・交流センターでは、役場の荒係長から震災前後の飯館村について、お話をお聞きました。
- ・交流場には、西日本豪雨への募金箱がありました。“までき”には「手間ひまを惜まず」「丁寧に」「時間をかけて」「じっくり」とそんな心がには込められているそうです。

<午後> 大川小学校跡地、慰霊・説明



当時12歳の次女を亡くされた佐藤さんにご説明いただきました。佐藤さんは当時中学校の教員をされていたそうです。



後ろが校舎跡です



「学校から1分で避難できたはず」、という裏山にも登りました

7月26日(木)

<午前> 名取市関上(ゆりあげ)地区

関上の現地で復興の状況、課題についてお話をお伺いしました。

昭和8年に津波があったことが、日和山の石碑に刻まれていたにもかかわらず、住民は、関上地区は津波がこないと信じていたため、多数の犠牲者が出たそうです。

「伝え続けることの難しさと必要性を認識した」とのお話がありました。



お話を聞いた日和山



「ヒット映画の起点」との記事



慰霊の碑

<午後> 東北大学生との交流の班と新蛇田復興住宅支援の班とに分かれて活動しました
【東北大学生との交流】



ボランティア活動をしている東北大生と交流しました

【新蛇田復興住宅支援】



支援物資を渡したあと、庭の草むしりや花苗をプランターに植え替える作業に取り組みました
その後、室内でゲームやカラオケで交流しました

・ 17:00 宿舎着
【講演会】



・ 元雄勝中学校の校長先生で、現在、仙台市教育局（教育委員会）の佐藤淳一先生に、今年もご講演をお願いしました。

・ 卒業式の直後に地震・津波があり、全て流された雄勝中学校を、校長として職員、生徒とともに再生されていったお話でした。

・ 「たくましく生きよ」という校訓と、「こどもは未来、希望そのもの」という言葉が印象的でした。

7月27日(金)

宿舎の前で解団式をした後、8:00に出発し、21:00頃神戸に到着、それぞれ解散しました。



宿舎の前で、4校の生徒全員で



神戸高校からの参加者全員で

- ・ 往復それぞれ13時間の行程で、大変だったと思いますが、事故や大きく体調を壊す人もなく、よく頑張ってくれました。本当におつかれさまでした。生徒たちを送り出していただいた4校の保護者の皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・ 通常の業務で本当にお忙しい中、企画、現地との調整、4校打ち合わせ等々の中心になっていただいた各校の教頭先生、引率の先生方にも感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・ 費用面でもご支援いただいた同窓会、PTA、ひょうごボランティアプラザ、神戸マラソン事務局、ご協力いただいた企業の皆様はじめ関係の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・ とりわけ、生徒たちのためにお時間を割いていただきお世話になった現地の皆様には、本当の意味での一日でも早い復興をお祈りしますとともに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。